令和6年度
当初予算の概要

IZUCITY
SINCE 2004
20th Anniversary

1　予算の規模

全会計

（単位：百万円、％）

区分	R6当初	R5当初	増減	伸率
一般会計	24,408	22,796	+1,612	+7.1
特別会計	8,349	8,443	▲94	▲1.1
企業会計	2,977	2,972	+5	+0.2
合計	35,734	34,211	+1,523	+4.5

一般会計、後期高齢者医療特別会計の予算額が合併以降最大に！

1-1　歳入の特徴（一般会計）

（単位：百万円）

区分		R6当初 A	R5当初 B	増減 A−B
自主財源	市税	4,105	4,088	+17
	寄附金	1,511	1,210	+301
	繰入金	2,218	2,254	▲36
	その他	1,258	1,203	+55
依存財源	地方交付税	5,817	5,468	+349
	国庫支出金	2,874	2,982	▲108
	県支出金	1,126	1,231	▲105
	市債	4,235	3,074	+1,161
	交付金等	1,264	1,286	▲22
合計		24,408	22,796	+1,612

【市税】 ＋1,700万円

新型コロナウイルス感染症の影響改善に伴う個人・法人市民税の増

【地方交付税】 ＋3億4,900万円

国の地方財政対策による普通交付税の増

【国・県支出金】 ▲2億1,300万円

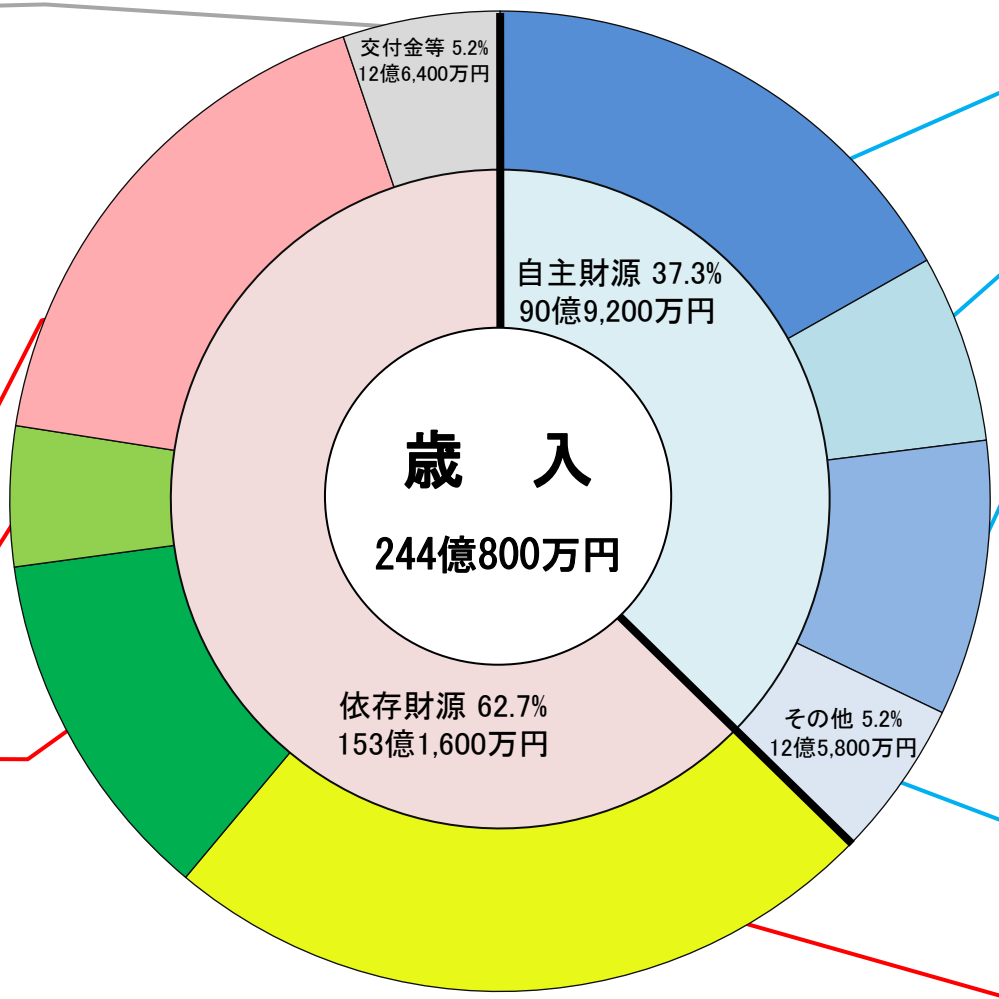
＜国庫支出金＞松原公園津波避難複合施設整備事業の完了に伴う減

＜県支出金＞わさび拠点施設整備事業等の完了に伴う観光施設整備事業補助金の減

【市債】 ＋11億6,100万円

伊豆中学校整備事業や中伊豆室内温水プール長寿命化改修事業等に伴う増

歳入　構成比



地方譲与税
2億4,600万円
地方消費税交付金
7億2,600万円
地方特例交付金
1,600万円
ゴルフ場利用税
交付金
1億2,400万円
ほか各種交付金
1億5,200万円

市債 17.3%
42億3,500万円

県支出金 4.6%
11億2,600万円

国庫支出金 11.8%
28億7,400万円

市税 16.8%
41億500万円

寄附金 6.2%
15億1,100万円

繰入金 9.1%
22億1,800万円

分担金及び負担金
1億3,600万円
使用料及び手数料
1億7,700万円
財産収入
6,700万円
繰越金
5億円
諸収入
3億7,800万円

地方交付税 23.8%
58億1,700万円

1-2　歳出の特徴（一般会計）

（単位：百万円）

区分		R6当初 A	R5当初 B	増減 A−B
経常的経費	人件費	3,200	3,021	+179
	扶助費	2,488	2,467	+21
	公債費	1,972	1,881	+91
	その他(経常的経費)	7,391	7,062	+329
投資的経費	補助事業	3,958	4,431	▲473
	単独事業	2,574	1,256	+1,318
	災害復旧費	1	1	0
その他		2,824	2,677	+147
合計		24,408	22,796	+1,612

【人件費】 ＋1億7,900万円

人事院勧告に伴う給与改定や会計年度任用職員への勤勉手当支給による増

【公債費】 ＋9,100万円

令和2年度実施事業（広域処理施設整備事業、公的病院移転新築補助事業等）の財源とした市債の元金償還の開始に伴う増

【その他(経常的経費)】＋3億2,900万円

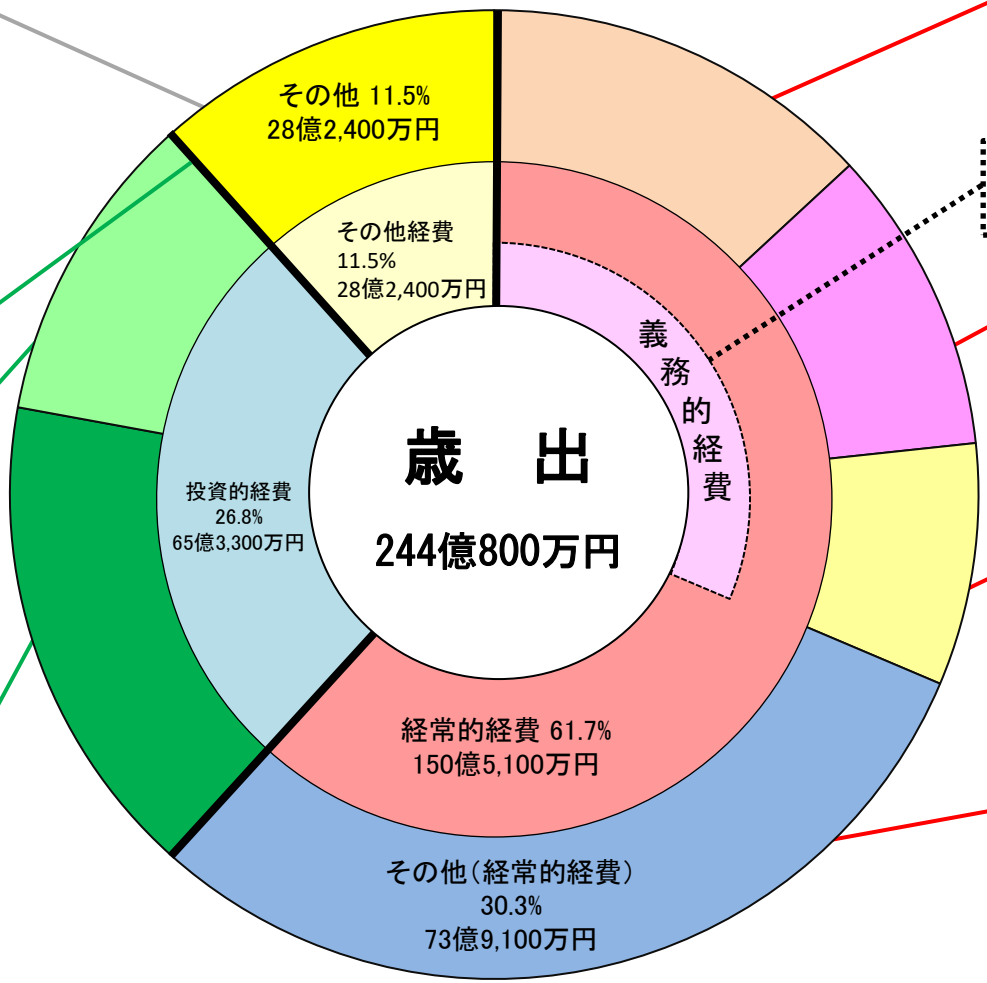
＜補助費等＞ふるさと納税寄附金の増額に伴う返礼品やシステム使用料の増

【投資的経費】 ＋8億4,500万円

＜補助事業＞伊豆中学校整備事業が最終年度を迎える一方で、松原公園津波避難複合施設の整備完了により全体として減

＜単独事業＞中伊豆室内温水プール長寿命化改修事業や（仮称）日向公園危機管理センター整備事業などによる増

歳出（性質別） 構成比



積立金
10億6,500万円
繰出金
17億2,900万円
予備費
3,000万円

災害復旧事業 0.1%
3万円

単独事業 10.5%
25億7,400万円

補助事業 16.2%
39億5,900万円

人件費 13.1%
32億円

義務的経費 31.4%
76億6,000万円

扶助費 10.2%
24億8,800万円

公債費 8.1%
19億7,200万円

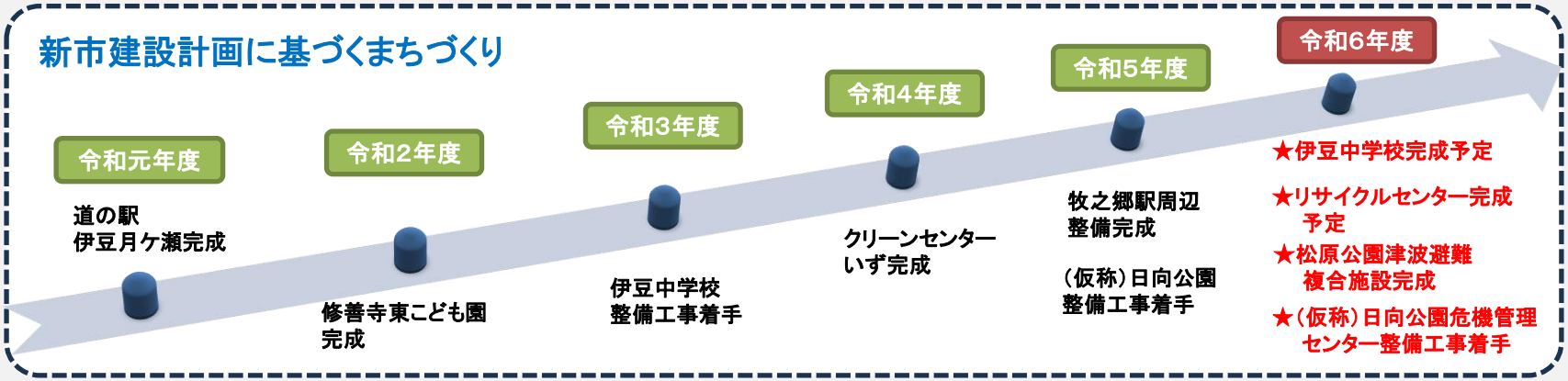
物件費
39億6,800万円
維持補修費
8,700万円
補助費等
33億3,600万円

2　基本方針

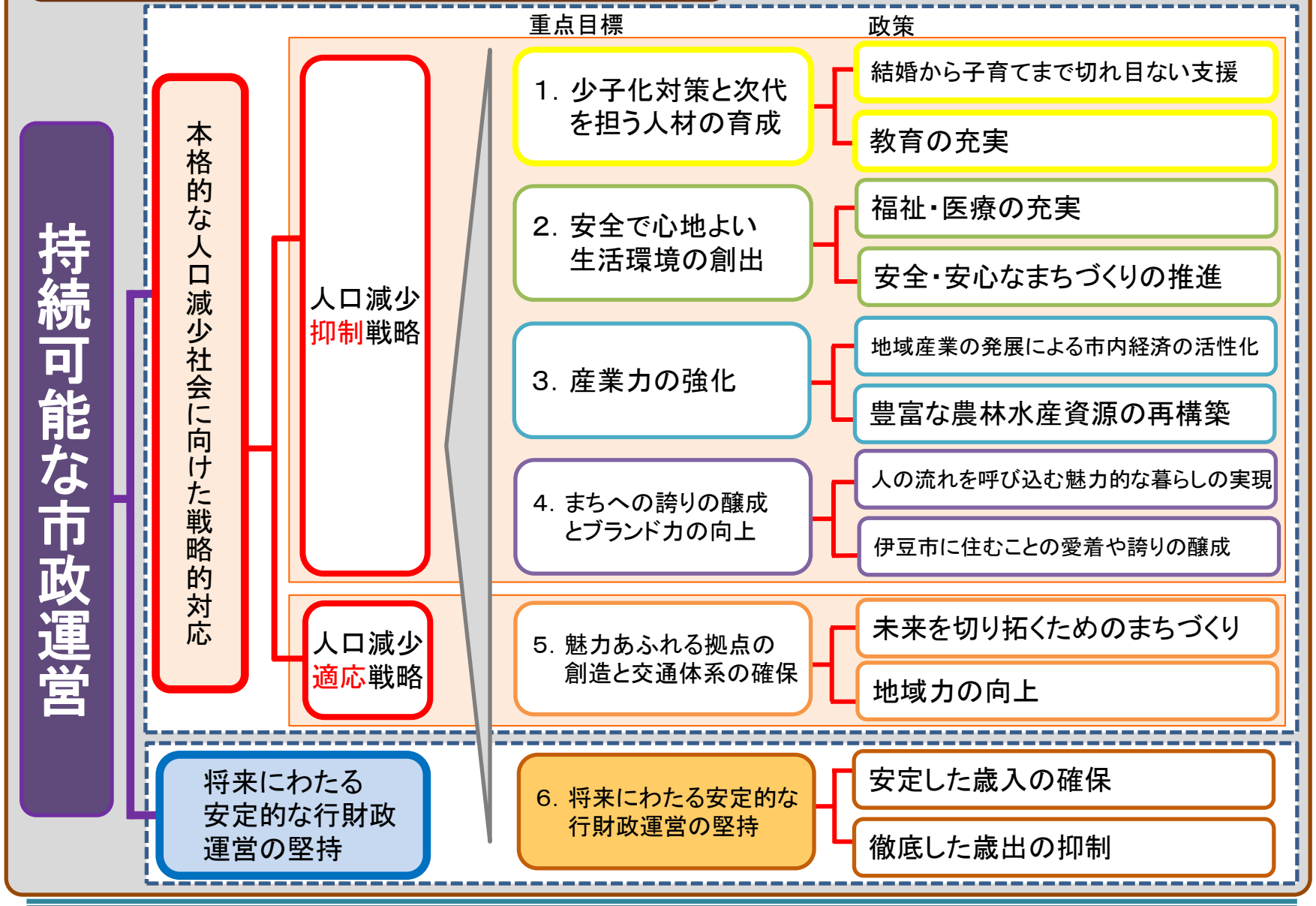
『市制20周年』合併の総仕上げのための予算編成

・平成16年の4町合併以来、新市建設計画に基づきまちづくりを推進。市制20周年となる令和6年度は、その総仕上げの年となり、過去最大の予算規模となる。
・一方で、令和7年度以降は合併特例債が発行できなくなり、予算規模の縮小が見込まれる。

第2次伊豆市総合計画後期基本計画の基本方針に基づき、**合併の総仕上げ**を成し遂げるとともに、**安全・安心なまちづくり**や**少子化対策**、**移住定住施策**の継続などを重点的に推進しつつ、持続可能な市政運営に向けて取り組んでいく。



第2次総合計画の体系


持続可能な市政運営
本格的な人口減少社会に向けた戦略的対応
人口減少抑制戦略
人口減少適応戦略
将来にわたる安定的な行財政運営の堅持
重点目標
政策
1. 少子化対策と次代を担う人材の育成
結婚から子育てまで切れ目ない支援
教育の充実
2. 安全で心地よい生活環境の創出
福祉・医療の充実
安全・安心なまちづくりの推進
3. 産業力の強化
地域産業の発展による市内経済の活性化
豊富な農林水産資源の再構築
4. まちへの誇りの醸成とブランド力の向上
人の流れを呼び込む魅力的な暮らしの実現
伊豆市に住むことの愛着や誇りの醸成
5. 魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保
未来を切り拓くためのまちづくり
地域力の向上
6. 将来にわたる安定的な行財政運営の堅持
安定した歳入の確保
徹底した歳出の抑制

3　重点事業

市民（いのち）を守るまちづくり　　総事業費8億9,032万円

2035年±5年には発生するといわれている南海トラフ地震に備え、「死者ゼロ」を目指した取組みを重点的に推進していく。

防災拠点の整備

（仮称）日向公園・危機管理センター整備事業　7億3,633万円
・日向地区に防災機能を兼ね備えた公園を整備
（R7年度一部供用開始、R8年度完成予定）
・市の災害対策拠点として（仮称）危機管理センターを日向公園に整備（R7年度完成予定）

松原公園津波避難複合施設運営事業　3,307万円
・令和6年7月にオープン予定の防災機能と観光機能を併せ持った津波避難複合施設「Terrasse Orange toi（テラッセ　オレンジトイ）」の管理・運営

津波・河川監視カメラ設置事業　1,442万円
・津波・河川監視カメラを松原公園津波避難複合施設に設置

旧八岳小学校解体改修事業　8,910万円
・旧八岳小学校を解体・改修し、八岳地区のコミュニティセンター及び災害時の避難所として活用

避難対策の推進

避難案内板整備事業　385万円
・松原公園津波避難複合施設への避難誘導案内板を整備

防災用資機材整備事業　973万円
・避難所における資機材や災害時にペットを連れて避難した方のための資機材を整備

地区防災計画作成支援事業　100万円
・地域による共助力向上のための地区防災計画の作成を支援

「わたしの避難計画」作成支援事業　52万円
・自助意識の向上のため「わたしの避難計画（※）」の作成ガイドブックを作成し、市民への普及を促進。
（※）今後起こりうる大規模災害に備えて、一人ひとりが「いつ」「どこ」に避難すべきかを整理し、あらかじめ計画しておくもの

要支援者災害時避難事業　179万円
・要支援者の個別避難計画を策定するとともに、避難所への要支援者用備品の整備を実施

ふじのくに防災士養成事業補助金　51万円
・地域の防災リーダーを育成するため、静岡県ふじのくに防災士養成講座の受講にかかる費用を補助

重点目標1　少子化対策と次代を担う人材の育成

結婚から子育てまで切れ目ない支援

出会い・婚活支援事業　552万円

・【拡充】婚活イベント、婚活セミナーを開催するとともに、専任のコンシュルジュによるサポートを実施する結婚相談所への入会及び活動を支援
・「ふじのくに出会いサポートセンター」に入会する市民に対し、年会費の一部を補助

【新規】夜間小児医療確保補助金　500万円

・夜間診療を実施した市内小児科医療機関に対し、補助金を助成

【新規】医療相談アプリ導入事業　80万円

・妊婦・未就学児のいる世帯が専門医によるアドバイスを受けることが可能なアプリを導入

教育の充実

伊豆中学校整備事業　28億5,416万円

・修善寺中・中伊豆中・天城中の3つの中学校を統合した伊豆中学校の整備工事（令和7年4月開校予定）

【拡充】児童居場所整備事業　2,613万円

・バス待ち等の放課後の子どもの居場所について、既に設置済みの3小学校に加え、新たに4小学校に設置し、市内全小学校に拡充

【新規】学びの探求向上事業　740万円

・【新規】小中学生向けプログラミング教室、生成AI入門教室等の開催
・【新規】児童待合所でのICT学習支援　　など

▲令和7年度開校　伊豆中学校のイメージ

重点目標2　安全で心地よい生活環境の創出

福祉・医療の充実

2025年デフリンピック開催準備事業　405万円

・サイクルスポーツセンターでの東京2025デフリンピック自転車競技（ロード、MTB）開催に向けて、手話講座や1年前イベント等を実施

【新規】へき地医療対策機器購入事業　605万円

・へき地における医療体制を維持していくため、公設民営の医療機関が使用する機器を更新

▲市職員対象の手話講座の様子

安全・安心なまちづくりの推進

リサイクルセンター整備事業　8億8,820万円

・クリーンセンターいず整備に伴い廃止された清掃センター焼却施設を解体するとともにリサイクルセンターを整備（令和7年度より運営開始予定）

（仮称）日向公園・危機管理センター整備事業　7億3,633万円（再掲）

▲リサイクルセンター完成イメージ

ゼロカーボン推進事業　1,135万円

・【新規】再配達を抑制し温室効果ガスの削減を図るため、宅配ボックス購入に対し、補助金を助成
・【新規】市内事業者が所有する施設について「省エネ診断」を実施する際の費用に対し、補助金を助成
・【新規】公用車に電気自動車を導入　など

重点目標3　産業力の強化

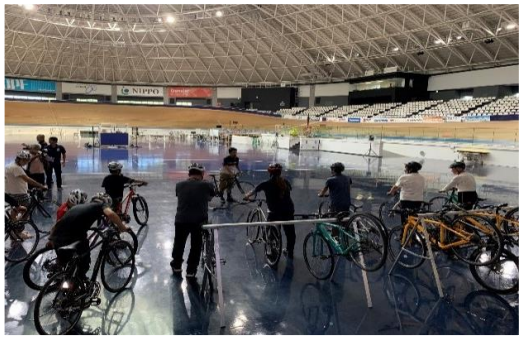
地域産業の発展による市内経済の活性化

東京2020レガシー創出事業　1,624万円

・オリパラ競技会場の聖地化に向けた市民のサイクルスポーツセンター利用促進
・ジャパン・マウンテンバイク・カップ大会の開催
・市民の自転車購入に対する補助

伊豆市版DMO事業　530万円

・DMOによる新たな観光コンテンツの造成、ガイド育成支援
・ウェブ上でコンテンツの募集・予約から決済まで行える伊豆市観光総合サイト「いずタビpick Up! 」の運営及びプロモーション
・【新規】体験モニターツアーの実施



▲伊豆ベロドロームでの自転車試乗体験会の様子

豊富な農林水産資源の再構築

【新規】Izu Wasavisitor Center活用事業　970万円

・令和5年度に完成予定のわさび拠点『Izu Wasavisitor Center』において、わさびに関する様々な情報発信を実施
・開館イベント及び集客イベントの開催

森林環境譲与税活用事業　6,414万円

・【新規】伊豆中学校下駄箱や狩野川記念公園ベンチ・テーブルへの市産材の活用
・市内住宅建築における市産材の活用や未整備森林の整備に対する補助
・新生児に対し、市産材を活用した記念プレートを配布　　など

▲Izu Wasavisitor Centerの完成イメージ

重点目標4　まちへの誇りの醸成とブランド力の向上

人の流れを呼び込む魅力的な暮らしの実現

移住定住促進事業　1億274万円

・移住定住促進補助金など各種補助金の支給の他、お試し住宅の運営により、移住定住を促進
・【拡充】空き家の片づけや清掃に対する補助について、より利用しやすいように空き家バンクへの登録に対する補助に見直し
・【新規】幼少期の子どもに自然体験の機会を提供する「森のようちえん」事業の実施

「IzuCamp.comProject」事業　1,095万円

・キャンプブームを契機として、『キャンプ王国 伊豆市』を目指し、ポストコロナ時代の伊豆市の新しいまちづくりを推進（国の交付金を活用した3ヵ年事業の最終年度）
・キャンプ情報発信ポータルサイトの管理運営、アウトドアツアー関連商品の企画販売支援
・地域事業者による事業推進体制の構築

▲「IzuCamp.comProject」事業
モニターツアーの様子

伊豆市に住むことの愛着や誇りの醸成

【新規】市制20周年記念事業　2,300万円

・健康増進・スポーツ推進に向けた「げんきスポーツフェスタ」や子育て世帯等に向けた「こどもフェスタ」のほか、「サイクルフェスタ」、駅西口広場での通年イベント、伊豆の国市と連携した婚活イベントや駅伝大会等の記念イベントを開催
・市や近隣市町の地場産品を活用したふるさと給食を児童・生徒に提供　　など

ふるさと学級事業　62万円

・子どもたちのシビックプライドの醸成に向けて、小学生を対象とした伊豆市ならではの自然や歴史を学ぶ講座である「ふるさと学級」を開催

▲ふるさと学級の様子

重点目標5　魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

未来を切り拓くためのまちづくり

修善寺駅周辺まちづくり検討事業　880万円

・主要地方道伊東修善寺線の修善寺駅前区間道路改良に合わせて策定した
　まちづくり基本構想の事業化に向けた事業手法や区域の検討

【新規】狩野川記念公園魅力化事業　5,500万円

・子育てファミリーが集まる身近な広場として、狩野川記念公園遊具広場の魅力化を
　図るため、遊具の配置やウッドデッキの整備などを実施

▲狩野川公園遊具広場整備イメージ

地域力の向上

交通利用助成事業　9,567万円

・高齢者割引乗車証（いきいきパス）の購入補助
・小中学生の通学費補助、高校生のバス通学に対する補助
・障害を持つ方へのタクシー・バス等の助成利用券の交付
・在宅高齢者へのタクシー・バス等の助成利用券の交付

交通ネットワーク検討事業　1,071万円

・公共交通網の再編を行い、効率的な交通システムの構築や経費の削減を図るとともに、
　伊豆中学校開校に合わせた路線変更について検討

重点目標6　将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

安定した歳入の確保

ふるさと納税促進事業　7億4,192万円

・ウェブサイト上での返礼品プロモーションや返礼品の新規開拓に係る業務について
　ノウハウを要する民間に外部委託し、ふるさと納税寄付額の更なる増加を促進

シティプロモーション事業　839万円

・【新規】デジタル広告を活用し、市の魅力をターゲットを絞って内外に発信
・子育て施策等のPRに向けたラッピングバスの運行
・修善寺駅へのPR看板掲出や電車内への広告掲出　　など

▲『子育て全力宣言』をPRするフルラッピングバス

徹底した歳出の抑制

未利用公共施設整理事業　5,216万円

・【新規】青羽根団地（A・B・C棟）の用途廃止及び全棟の解体・撤去
・中伊豆温泉スタンドの廃止に伴う借地返還に向けた土地整備
・【新規】半経寺区の児童公園の借地返還に向けた現状復旧工事

公共施設民間活用推進事業　1,980万円

・観光施設の維持・管理等に係る経費の削減を図るため、管理運営における
　民間活力の導入を検討

▲長寿命化工事を実施する
中伊豆室内温水プール
「ふれっぷ」

【新規】中伊豆室内温水プール長寿命化改修事業　5億900万円

・長寿命化改修・整備計画に基づき、中伊豆室内温水プールの長寿命化工事を実施